

2025-2026年度国際ロータリーのテーマ



2025-2026年度国際ロータリー第2690地区メッセージ

「UNITE FOR GOOD」
よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度岡山北ロータリークラブのスローガン

元気になることをしよう

2025～2026年度 *Rotary Club of Okayama North*

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所／〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
 TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
 E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
 http://okayama-kita-rc.jp/

例会場／岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

例会日／毎火曜日 12:30～13:30

理事・役員

2025.7～2026.6

会 長	高 畠	浩 剛
副会長	上野山	義 宏
幹 事	砂 田	信 達
副幹事	宮 岸	浩 慈
会 計	井 本	也 司
S.A.A.	磯 島	
副S.A.A.	三 磯	

会員増強・退会防止(理事)
 広報(理事)
 奉仕プロジェクト(理事)
 ロータリー財団(理事)
 クラブ3年計画
 親睦活動
 プログラム
 直前会長(理事)
 次期会長

馬 場 幸 三
 永 山 雅 己
 廣 野 景 治
 磯 島 芳 樹
 牧 本 郎
 杉 山 洋
 米 林 真
 高 橋 樹
 上野山 剛

モバイルサイトへのアクセスは
 QRコードをご利用ください。
 (岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「内部卓話」

大 塚 雅 司 会 員

次回10月21日のプログラム

「メタバースを用いた小児・AYA(思春期・若年成人)
 世代がん患者さんの孤立・孤独改善に向けた取り組み」
 岡山大学学術研究院医歯薬学域
 医療情報化診療支援技術開発講座 教授 長谷井 嬢 様

10月のお祝い行事

会員誕生日：馬場、伊藤、大塚、妹尾、
 米林君

結婚記念日：堀川、磯島(芳)、小野、佐々木、
 高取、安原、吉田君

前回9月30日の例会記録

出席の状況

会 員 数 51名(出席免除者0名)
 出席者数 32名
 欠席者数 19名

出 席 率 62.75%
 9月ホームクラブ平均出席率 60.79%

スケジュール

10月 経済と地域社会の発展月間・米山月間

14日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
 21日(火) 12:30～例会
 28日(火) 12:30～例会

11月 ロータリー財団月間

4日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
 11日(火) 12:30～例会・第5回理事役員会
 18日(火) 12:30～例会
 25日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)

会長挨拶



1. 前回開催された例会では、後藤誠様にお越しいただき、「こたつ～自社ビルへ」というテーマで卓話を行っていただきました。最新のAI活用やホームページの重要性など、ロータリークラブの公共イメージ向上にも役立つお話は、大変勉強になりました。

また、当日は社会奉仕活動に関心のある方々を募集したところ、13名の方が例会見学に訪れてくださいました。初めての方も多く、十分にお話しできなかったため、現在、個別にお伺いしたり、SNSで情報交換をしたりと、交流を深めています。

さらに、後藤様の自社ビル会議室にて、7名の有志が集まり、各々のボランティア活動の詳細を共有し、今後の連携について話し合う有意義な会合も開催されました。会社勤めをしながらの活動の大変さも感じつつ、継続的な活動を目指す場となりました。

この度、マイロータリーから「法人会員導入ガイド」という資料が届きました。会員増強に繋がる仕組みかと思うので、詳細を研究し、改めてご報告させていただきます。このような機会を設けていただき、心より感謝申し上げます。

2. 国際ロータリー第2690地区ロータリークラブ杯（第20回岡山北ロータリークラブ旗）について

去る9月14日・15日に開催されました「国際ロータリー第2690地区ロータリークラブ杯(第20回岡山北ロータリークラブ旗)」にご参加・ご関係いただきました皆様に、改めて感謝申し上げます。共催いただいた10グループの会長様、坂口ガバナー、大岩ガバナー補佐には、本会議前日のRI会長代理懇談会の席で、相互に労をねぎらう機会をいただきました。

地区大会にご参加の皆様は、岡山北ロータリークラブを紹介する新しいパネルに、今回のミニバスケット大会の様子が紹介されているかと思うので、ぜひご覧ください。

幹事報告

1. 10月の例会につきまして出欠確認表を回覧いたします。お手数をおかけいたしますがご回答くださいますようお願いいたします。
2. 他クラブ週報・月報を回覧いたします。

S. A. A.

高畠君：伊藤先輩、本日はご指導よろしくお願い致します。

砂田君：伊藤会員、スピーチを楽しみにしています。

伊藤君：本日、スピーチをさせていただきます。

米林君：本日は、岡山北RCの精鋭が集結している様子。中でも中核をなす、伊藤氏、廣野氏の登壇を寿いで。

渡辺君：9/21（日）米子コンベンションセンターにて、「クラブ米山記念奨学委員長研修会」に、米山記念奨学会 中山委員長に代わって行ってまいりました。機会をいただきありがとうございます。坂口地区ガバナーはじめ、23名の地区委員やヴェンくんをはじめとする28名の奨学生とカウンセラーが出席しました。研修の内容は、グループLine等で皆様に展開したいと思います。



幹事報告



出席報告



スマイル報告

委員会・活動報告

雑誌委員会 委員長 橋田 歳行 会員

「ロータリーの友9月号」の紹介

9月のテーマは「基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間」。年度開始の2週間前にRI会長に指名されたフランチェスコ・アレツツオ氏が、自信を胸にロータリーの指揮を執る「Out of the gate」いきなり舞台への記事を紹介。また、新設の「ロータリーあるある相談」コーナーでは、役員の選任に敗れたことで「怪文書」が出回った記事への驚嘆とともに、それに対してのコメントや対応策がきちんと掲載されていた記事を紹介。



奉仕プロジェクト常任委員長 廣野 景治 会員

9月14日（日）、15日（祝）に第10グループ（岡山旭川・岡山中央・岡山北・岡山南・玉野ロータリークラブ）の共催事業として開催された第20回岡山北ロータリークラブ旗ミニバスケットボール大会への会員の皆様の協力に対する御礼とともに、スライドで事業報告がありました。



私が住んでいるところは岡山市東区草ヶ部 少し北に上がると赤磐市、少し東に行くと旧瀬戸町、会社の所在地は旧西大寺市、なぜ北ロータリークラブに在籍しているのか？

西大寺地区はライオンズクラブはあるけどロータリークラブは存在しません。

例会に出席する時にプラザホテルの前を通って行きます。岡山東ロータリークラブに入会していれば、もう少し会社等をゆっくり出発することができると思って出席していました。

ロータリークラブに入会するならば、岡山東ロータリークラブ入会とのある先輩との約束もありましたが、ある事情によりその約束は、無くなりました。又、度々赤磐ロータリークラブのメンバーの皆様が、入会を勧めに、会社等を訪問されておりました。

岡山北ロータリークラブに入会する前に、北ロータリークラブのメンバーの方がグランヴィアの中華料理屋に来てくれと何の会かは分からずに料理を食べに行きました。そこには、岡山北ロータリークラブメンバーの皆様が5から6人位居られたように思います。

しばらくして、この会はロータリークラブ入会勧誘の集まりだと、気がつきましたが、黙って帰るわけにはいけないので、前向きに検討しますと、そのようなことを言ったような記憶があります。

それから、赤磐ロータリークラブその他のクラブの皆様方からの熱心な勧誘が、ございましたが。その度に断り、言い訳することが面倒にもなり、入会を決断し山本武彦会長年度の始まる1ヶ月前2000年6月に岡山北ロータリークラブに入会させていただきました。

ロータリークラブの年度始まりは7月からだと、後で入会後知ったのですが、なぜ6月入会だったのかいまだによく分かりません。

その頃は入会金があり、そして全ての年会費費用を月割りにして払った覚えがあります。

入会当日は、婦人同伴だった為、嫁に頭をさげ、買い物の約束をして、入会前のレクチャーを安部バスト会長より、受けました。

ロータリアンの心得として、例会100%出席、3年間は全ての事業への出席を求められました。

そして家内と共に例会に出席、入会の挨拶では事前にメモを渡され、『歴史と伝統のある岡山北ロータリークラブへ入会させていただきありがとうございます』と、お礼の挨拶。入会前は、個人のペースで活動して下さいと優しく、入会後は少し厳しかったような気がいたします。

入会後はものすごく真面目な会員でもなく、そこそこ、例会、事業に出席していた会員だったと思います。

ロータリークラブ入会7年後、2007-2008大塚年度に幹事をさせていただきました。

1年間満足、納得のいく、運営が出来ず大塚会長に大変ご迷惑をお掛けした様な気がします。幹事の悪口は、必ず会長のところにいきます。ロータリーは、会長、幹事が一体ですから、当時、私のことを守り、かばってもらった気がします。

幹事未経験の会員の皆様是非、幹事をしてください。

6ロータリー幹事会、県南16ロータリー幹事会等の会合を通じて素晴らしい出会いがあると思います。今でも年に2、3回集まって親睦を楽しんでいます。

ロータリーには、団結力が少ないと思います。あるのは、一人ひとりの良質な主体性です。心の団結は、ありますが、行動の団結、外形の団結が少ないのがロータリークラブの長所でもあり短所でも



あります。

したがって、ロータリークラブは組織体として非常に弱いと思います。そこで、その弱さをカバーするため幹事は、クラブ内外の情報を一身にプールし、あらゆる情報は、幹事を經由することが理想です。そして、会長は例会でアドバルーンを上げて、皆にやる気を起こしてもらうことです。

今年のクラブ運営方針『元気になることをしよう』元気になるロータリークラブとなるためには、ロータリークラブをつよくしなくてははいけません。

ある地区のバストガバナーがこのように言われておりました。ジャングルの法則というのでありますが、その一説に「群れの力は狼である　そして狼の力は群れである」というのがあります。つまり一匹一匹の狼の力の強いことが群れの力を強くする、群れを構成する一匹一匹がまさに一匹狼のように強いことが全体の力を強くするのであります。ロータリーも一人一人のロータリアンが強く成ることによって、初めてロータリークラブが強くなるということです。牧本出席委員長が毎例会でお願いしておりますが、例会の出席率を上げることも岡山北ロータリークラブが強くなる一つの方法でもあります。

幹事の役職が終わって以降11年目に会長をさせていただくことになりました。

幹事の役職後早い人で5年遅い人でも7年から8年ぐらいで会長をされております。私は、なぜ長いこと会長職につけることができなかったのか、私の力不足が、第一ですけども、実は4年後に会長をしませんか、というお話がありました。2010年から2011年度の下山年度の始まる前に当初副会長予定で、次年度、会長という話で就任予定でしたが、2008年9月に起こったリーマンショックの影響で2012年ぐらいまで会社の業績が悪化、2年間で300日間、従業員を休ませるような事態が起きました。2年間の売り上げが、対前年比7から8割減になり会社設立以来、最大のピンチでした。その間、笑って会社経営、生活しておりましたが。其の為、青木会員が副会長に私がSAAにと変更してもらい、次年度、青木さんが会長に就任されました。

無理聞いてくださった、青木会員には今でも大変感謝をしております。その青木会員が指名委員長の時に、2018～2019年度は会長をお願いしますとの、指名をいただきました。前に大変無理難題を、お願いしていたので断ることが、もちろんできませんでした。

創立50周年の節目に会長職を仰せつかり責任、覚悟を持って運営させていただきました。この頃は、無理難題な、お願いを聞いてくださる会員が入会されておられましたので、人事面では心強く安心でした。

年度が始まる3ヶ月ぐらい前までに『創立50周年式典を、50名の会員で祝う』を合言葉に運営方針を決めました。

その時には会員数が40数名。多分43、4人ぐらいのメンバーだったと思います。その時期には（先ほどの無理難題を聞いてくださる）廣野会員、永山会員、中山会員等の努力で5、6名のメンバーから、私が会長年度の時に入会しますとの約束をいただいております。あと2、3名ほどの会員増強であれば高橋会員増強委員長予定者が何とかしてくれるだろうと気楽に構えておりました。しかし、前年度が終わった6月30日に会員数が39名になっており、これは少し慌てました。11名の会員増強が可能なクラブは、毎年最多会員増を達成している岡山南ロータリークラブじゃないと無理じゃないからだと思えるような人数ですから、また、運営方針の書き換えが出来る訳でもありません。大変悩みましたが、年度が始まり毎例会で皆様に、新会員紹介を、お願いしたように思います。

高橋会員始め皆様のおかげで50周年記念式典の約2週間前に合計11名の入会をいただきました。最終的には岡山北ロータリークラブ50年の歴史の中でも過去最多の会員12名の純増ができ、無事50名の会員で創立50周年記念式典懇親会が行えました。（高橋委員長は、50名に満たないときの裏技も考えておられたようですが）記念式典での会長挨拶内容を変更することなく無事終了することができま



した。有難うございました。

12名の入会により、地区大会で、新会員が最も多かったクラブとして表彰をいただきました。地区内クラブより、会員増についての問い合わせが、高橋会員に多数あったと聞いております。

毎年その年度の会長が会員増強のクラブ方針を掲げられます。近年物価上昇が予想外に進んでおり、例会費などが高騰しクラブの維持も大変だと聞いております。私自身、年会費があがるのは、大変辛いと考えます。会員が増えることで回避出来ることもあるかと思えます。本年度も皆様の努力で純増を達成しましょう。

会長年度42回の例会中17回の（競輪選手、バレーボール、ボートレーサー、音楽プロデューサー等）外部講師による卓話をプログラム委員長の企画により、行いました。（私を会長に指名した青木会員をプログラム委員長に指名）私が、楽しみにしていたのは、卓話終了後の謝辞でした。

予めホームページ等で講師の皆様が得意とする事、喜んでもらえる内容を調べて、謝辞で述べて喜んだ顔をしていただくことが、楽しみでした。思い通りに、いかなかった事もありましたが。ロータリアンには、卓越した事業の専門家がいますし、豊かな人生経験を持った人や、高い倫理観を持った方々もおられます。ロータリークラブは人生勉強には事欠きません。ある時は師となり、ある時は生徒となって、クラブ例会、事業を通して人生が学べます。

それらを可能にする前提としては、ロータリアンがすべて平等でなければなりません。

ロータリアンの世界は完全に平等・対等の世界であります。従って、クラブ会長と一般会員との関係も平等・対等、クラブ理事と一般会員との関係も全て平等・対等であります。

本年度に入会した新会員と歴代のパスト会長との関係も平等・対等であります。平等・対等がゆえに親睦がいかされると感じた会長年度でもありました。

例会会場に入ると目に留まる物、掲げられているもの

（ロータリー目的）（四つのテスト）（奉仕の理想）（国旗）（鐘）について

会長の特権として毎例会に会長の時間が与えられます。会長の時間は、会長挨拶ではなく、奉仕理念を提唱する貴重な時間です。会員に対する奉仕理念の提唱こそ会長に与えられた最も大きな責任だと思いますので、ロータリーの目的、四つのテストについては、又の機会に高畠会長よりお話をお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

【伊藤会員にスピーチ頂いた内容の感想】

本日は伊藤先輩のスピーチを頂き、私や若い会員向けのメッセージを頂きましたのでここにまとめて感想を掲載致します。

伊藤先輩には本日は、ロータリークラブ会員の皆様への気持ちが伝わる、大変ありがたいお話をしていただきました。本日は、そのお話をお聴きして私を感じたことを忘れないように週報に掲載させて頂きました。

【お話の内容】

伊藤会員のお話は、ご自身のロータリークラブへの入会経緯から始まり、会長時代の経験、そしてロータリークラブの未来への提言まで、多岐にわたりましたが特に、以下の点が印象に残りました。

1. ロータリークラブへの入会経緯と感謝

- ・長年にわたり、例会出席のために遠方から通われていたご経験。
- ・様々な誘いを断りつつも、最終的に岡山北ロータリークラブへ入会された経緯。
- ・入会勧誘の際の「前向きに考えます」という一言が、入会の決め手となったこと。
- ・入会当時の厳しい条件（100%出席、事業への参加）それを乗り越えてこられたこと。
- ・先輩や会長経験者から温かいサポートへの感謝。

2. ロータリークラブの課題と発展へのアドバイス

- ・ロータリークラブには「団結力が少ない」と感じており、組織体としては弱いと指摘。
- ・弱さをカバーするために、幹事にはクラブ内外の情報を集めることを期待。

- 会長には、会員のやる気を引き出す役割を期待。
- 今年のクラブ運営方針「元気になること」を実現するためには、クラブを強くする必要があり、その第一歩として「出席率の向上」を強調。
- 「群れの力は狼だ、そして狼の力は群れである」という「ジャングルの法則」を引用し、会員一人ひとりが「一匹狼のように強い」ことが、クラブ全体の力を高めると提言。

3. ご自身の経験とロータリークラブへの思い

- リーマンショックの困難な時期に会長職を辞退された経験。
- 創立50周年という節目での会長職への覚悟と、会員増強の苦労・達成。
- 講師への謝辞の際に、相手が喜ぶ言葉を探求し、その反応に喜びを感じていたエピソード。
- ロータリークラブは「人生勉強に最適な場所」であり、会員同士が「公平で対等」であることが、素晴らしい親睦につながるとの考え。
- 病気を抱えながらも、会員との交流が「唯一の楽しみ」であると語り、会員からの誘いを歓迎する温かい言葉。

伊藤会員のご経験に基づいたお話は、私たち会員一人ひとりがロータリークラブで果たすべき役割を改めて考えさせられるものでした。特に、「人間は難しいことに挑戦した方が良い」という言葉は、ロータリークラブの活動そのものを表しているように感じます。

私も、伊藤会員のように、様々な困難を乗り越え、ロータリークラブに貢献されてきた先輩方のお話に耳を傾け、自身も、より良い地域社会、そして「元気になるロータリークラブ」を築くために、今期全力でこの役職を頑張ります。本日は貴重な経験とアドバイスをお話し頂き有難う御座いました。

高畠 浩